

信篤(SHINTOKU)

いちかわ

市川市議会議員 **松永おさみ**

後援会だより **第19号**

事務所/原木1-22-16 電話・FAX 047-327-1470

www.matsnaga-o.net

12月
定例会

来年度予算編成に向け 福祉・教育の充実策を問う

市川市議会十二月定例会は、十一月二十九日から十二月十四日迄の十六日間、わたり開会されました。本定例会で審議された議案は、保守系議員の発議した「市川市男女共同参画基本条例の制定について」および市長から提案された条例の一部改正六案、補正予算四案、外でありました。その他十七年度決算認定案件も審議され、閉会中の特別委員会における審査を含め、原案の通り多数で認定されました。松永おさみ市議は、八日に一般質問を行いました。その概要を以下ご報告申し上げます。

京成と庁舎問題について

質問「京成連続立体化事業の現状と取組の考え方は」
 答弁「本年度、助役を長とする京成沿線整備検討委員会の設置し、真間駅・菅野駅・八幡駅・鬼越駅の周辺整備と駅前広場の整備形態についても検討している。県と京成電鉄は高架化が望ましいと考えている。新年度には、市民、鉄道事業者と行政で構成する懇話会を設置し、市の方向性について議論・協議を進めて行く。」

賀正

皆様には希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。市川市として地域の街づくりを推進してまいりました。今後も引き続き安全で安心な都市の創出を目指してがんばります。今年四月に統一地方選挙が行われますので、皆様のご支援を心からお願い申し上げます。市民の満足度を高めるため、皆様と一緒に街づくりを進めたいと考えています。お知恵と力を貸して下さい。皆様にとっても一年がよい年でありますように。新年度の挨拶として、市川市議会議員 松永おさみ



質問「市庁舎建替の問題、検討の進捗状況は」
 答弁「市民サービス、総合計画との整合性等から具体的な建替の検討を行うべきとの結論である。新年度建替基本構想を策定する予定であり、建設基金として建設費の三十程度程度の自己資金が必要なので、庁舎構想がまとまった段階で基金条例の設置を検討する。」

質問「タバコ税と日本中央競馬会からの環境整備寄付金の歳入見直しは」
 答弁「タバコ税は、年々減少し、新年度は三%減の二十五億七千万円、寄付金は本年度より三千万円減の三億円程度と見込んでいます。」

福祉施策の推進について

質問「高齢者の為のパークゴルフ場の建設と、健康スポーツ吹き矢の導入に向けたその後の動きについて」
 答弁「パークゴルフ場の整備は、まとまった土地が必要となることから、引き続き今後の検討課題とさせていただきます。スポーツ吹き矢の活動は、七公民館で年齢層では五十代から七十代が多く、徐々に普及してきています。高齢者の健康づくりの一施策と位置づけ、今後共主催講座の企画を検討していく。」

質問「はり・きゆう、マツサージ施術の助成であるが、対象者を市民税個人非課税者に加え、均等割の納税者まで広げる考えは」
 答弁「今年度に制度改正を行った。今後、社会情勢や市の財政状況等、適宜その時代に即したものを取り入れ検討してまいりたい。六十五才以上の均等割の方は一、六四二人である。」

在宅育児等の子育て支援策について

質問「幼稚園在園の第三子以降に対する支援及び在宅で育児をしている家庭への支援策は」

